今月のソリューション事例

アシスト

山形県が次期オフィス・ソフトとして「OpenOffice.org」を導入

アシストは、次期オフィス・ソフトとして「OpenOffice.org」の導入を予定している山形県にeラーニング・コンテンツおよび研修テキストを提供する。

山形県は、コスト削減などを目的に、他の自治体でも採用が進んでいる無償のオフィス・ソフトであるOpenOffice.orgの導入検討を行ってきた。そして昨年4月、アシストの評価検証支援サービスを利用して県庁内のPC約5,600台を対象にOpenOffice.orgへの移行検証（文書移行性検証、マクロ移行性検証、アプリケーション連携調査等）を行い、その結果OpenOffice.orgを使用することについて問題が無いとの判断に至った。

昨年11月からOpenOffice.orgを庁内の標準オフィス・ソフトとするための準備を開始し、本年2月から全庁PCにOpenOffice.orgを導入し、本年7月には移行を完了する予定だ。加えて、利用促進および職員研修には、アシストが提供するeラーニング・コンテンツおよび研修テキストが採用されることになった。

OpenOffice.orgは、福島県会津若松市、愛媛県四国中央市など多くの自治体で導入や検討が進んでいるが、都道府県における採用予定は山形県が初めてである。

大手企業や自治体において、コスト削減とともに、特定の事業者や製品からの脱却などを理由としてオープンソースの採用が進んでいる。OpenOffice.orgは、オープンソースで開発されており、ソースコードが公開された、無償で自由に利用できるオフィス・ソフトである。アシストは、2007年6月よりOpenOffice.org支援サービスとしてヘルプデスク・サービス、集合研修、eラーニング・コンテンツを企業や団体に提供している。また2010年2月より、評価検証や導入展開に関する支援サービスを提供している。アシストの各種サービスは、約100の企業や団体で採用されている。

㈱アシスト　E-mail：press@ashisuto.co.jp

ALSI

ドコモ・システムが「InterSafe WebFilter」を「ブラックベリーWebフィルタ」に採用

アルプス システム インテグレーション（ALSI）は、ドコモ・システムズが提供するNTTドコモのスマートフォンBlackBerry向けアクセス制限サービス「ブラックベリーWebフィルタ」に、同社のWebフィルタリングソフト「InterSafe WebFilter」が採用されたことを発表した。

携帯電話の利用者が低年齢化し、青少年が掲示板やSNS、プロフィールサイト、出会い系サイトなどを利用することで、トラブルや事件に巻き込まれてしまうケースが増加している。特に最近では、スマートフォンの利用者が急増し、今後、青少年によるスマートフォン利用も増えると予想されることから、安心してWebサイトにアクセスすることができる環境が必要とされている。

このような背景から、昨年の12月1日より、ドコモ・システムズが提供するBlackBerryスマートフォン向けアクセス制限サービスであるブラックベリーWebフィルタのサービス提供が開始された。ブラックベリーWebフィルタは、ALSIのInterSafe WebFilterを採用し、出会い系サイトなど青少年がBlackBerryスマートフォンでインターネットを利用する際に、不適切と思われるサイトへのアクセスを制限するサービスである。

ALSIのInterSafe WebFilterは、7年連続で国内市場シェア1位（IDC Japan調べ）を獲得し、パソコン向けのフィルタリングサービスとして、学校、企業、官公庁、家庭など、約1,000万端末以上の利用実績がある。また、全国の小中学校、高等学校、教育委員会、自治体等においてパソコンや携帯電話でインターネットを安全に利用するためのルールやマナーなどを伝える講演活動も実施しており、子どもたちを有害情報から守るための啓発活動も積極的に推進している。

アルプス システム インテグレーション㈱
TEL：03-5499-8043